【授業科目】医療英語　　Medical English Communication

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
Daniel T. Kirk	１年次 後期	必　修	２	３０	講　義		巻末 掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／看護の専門英語と看護技術の基礎を学べるように実用的医療英語のコースです。英語で先生と学生同士は医療専門家と患者さんとコミュニケーションに重点を置いた英語の学習が中心です。 患者さん又は他の看護師さんの文化を理解しながら英語でコミュニケーションをとれるようにします。 フィードバックは授業中に口頭で、また課題に対しては書面で、授業中または授業の合間に返却されます。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間としての自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①　文法がとてもシンプルですが、医療専門的な単語が多いです。 ②　患者さんと英語で話が出来る。 ③　他の医療専門家と英語で話して、文章でやり取りができるようにします。
時間外学習に必要な内容・時間	毎週Medical English Log 2.0を書いて、提出します。その書いた内容ついて、先生とのコミュニケーションをします。単語と会話を覚えるのは重要になります。 第２回～１５回事前学習：ビデオを見て、関連している文を読んで、授業に参加する。（各６０分） 第１回～１５回事後学習：Medical English Log 2.0に書かれたコメントの返事を書いて、一週間分のことを書きます。（各３０分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　Overview- Where people live 第２回　Communication 第３回　Family roles and organization 第４回　Work force issues 第５回　Test 第６回　Biocultural ecology 第７回　High-risk behaviors 第８回　Nutrition 第９回　Pregnancy and childbearing practices 第10回　Test 第11回　Spirituality 第12回　Healthcare practices 第13回　Death rituals 第14回　Time 第15回　Test 全て Daniel T. Kirk
評価方法 評価基準	小テスト、Medical English Log 2.0,90%、期末試験　10%。
教科書	なし　　参考書等　なし
学生への助言等	In this class we will work together to acquire the language skills necessary to communicate in English with other healthcare professionals and with patients alike.